事業番号 2023 － 文科 － 22 － 0301

令和5年度行政事業レビューシート （ 文部科学省 ）

事業名	橋渡し研究プログラム			担当部局庁	研究振興局	作成責任者
事業開始年度	平成19年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 釜井　宏行
会計区分	一般会計					
根拠法令（具体的な条項も記載）	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する計画、通知等	健康・医療戦略（第1期：平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期：令和2年3月27日閣議決定）、医療分野研究開発推進計画（第1期：平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期：令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定）、「統合イノベーション戦略2020」（令和2年7月17日閣議決定）、「バイオ戦略（基本的施策）」（令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定）	
政策	9　未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費	
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応					
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf					
事業の目的（5行程度以内）	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994 年に 14%、2007 年に 21%を超えた高齢化率（65 歳以上人口割合）は、2018 年には 28.1%に達するなどますます高齢化が進展している。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040 年には現役世代 1.5人で 65 歳以上の者 1 人を支えることになると予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016 年には男性 72.14 歳、女性 74.79 歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010 年から 2016 年の間に男女ともに約 0.3 年が短縮されたものの、依然として 10 年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。					
現状・課題（5行程度以内）	近年、ライフサイエンス分野における科学技術の進展は目覚ましいものがあり、その英知の活用により次々と革新的な医療技術の創出が世界的に行われている。これら新規医療技術の多くがアカデミア（大学等）において創出されている。アカデミアの研究成果を実用化に結びつけるためには、治験、薬事規制対応などの医療系独自の伴走支援をしていくための橋渡し研究を推進する体制、研究費などの研究環境整備を整備・強化していく必要がある。また、アカデミア等の優れた基礎研究の成果の実用化を加速していくために、産学連携の推進やシーズを継続的に創出するためのさらなる基礎研究の強化等にも取り組む必要がある。					
事業概要（5行程度以内）	健康・医療戦略（令和２年３月閣議決定）等に基づき、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を構築するために、文部科学大臣の認定による機関（橋渡し研究支援機関）を活用し、機関内外のシーズを積極的に支援する。また、厚生労働省の臨床研究中核病院と緊密に連携し、産学連携の強化を通じて革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指す。特に、企業への導出や実用化の可能性が高い研究課題について、効率的に企業に移転するため、基礎・応用研究から非臨床研究、更には臨床研究・治験にシームレスに繋ぎ、実用化を加速するための支援を推進する。					
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hashiwatashi/index.htm					
実施方法	補助					
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する橋渡し研究プログラムについて、当該経費の補助を行うもの【補助率：定額】					

予算額・執行額（単位:百万円）（インプット）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
予算の状況	当初予算(A)	4,982	5,223	5,548	5,548	8,244
	補正予算(B)	－	－	－	－	
					－	
					－	
					－	
					－	
					－	
	前年度から繰越し(C)	73	153	84	13	－
	翌年度へ繰越し(D)	▲ 153	▲ 84	▲ 13	－	
	予備費等(E)	－	－	－	－	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	4,902	5,292	5,619	5,561	8,244
執行額(G)		4,902	5,292	5,619		
執行率（%） =(G)/(F)		100%	100%	100%		
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（%） =(G)/{(A)+(B)}		98%	101%	101%		

令和5・6年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算項・目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由（・要望額・予備費）
（項）		研究開発推進費			重要政策推進枠　3,086百万円
	（目）	医療研究開発推進事業費補助金	5,548	8,244	
		その他			
計(A)			5,548	8,244	

活動内容① （アクティビティ）	アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を構築し、橋渡し研究支援拠点内外のシーズの積極的支援や産学連携の強化を通じて革新的な医薬品・医療機器等の創出に貢献。
↓	

活動目標及び活動実績①（アウトプット）

活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
橋渡し研究支援拠点でアカデミア等の優れたシーズを臨床研究・実用化へ効率的に支援	橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズ数 ※令和6年度活動見込は、令和5年度活動実績に基づき設定するため未記載。	活動実績	件	1,427	1,326	1,501	－	－
		当初見込み	件	1,614	1,614	1,360	1,418	－

成果目標①-1の設定理由（アウトプットからのつながり）

医薬品・医療機器等に係るアカデミア発のシーズは基礎研究、非臨床試験、臨床試験（治験）、薬事承認申請・審査といった段階を経て実用化される。
橋渡し研究支援拠点ではアカデミア発の優れた研究シーズを発掘し、基礎研究段階から臨床試験段階まで一貫した継続的な支援を担っており、支援シーズが臨床試験（治験）段階へ進むことで実用化を促進する。

成果目標及び成果実績①-1（短期アウトカム）

成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度
橋渡し研究拠点で支援するシーズが毎年34件程度、医師主導治験の段階にフェーズアップする。	治験届出件数のうち医師主導治験の数（件）	成果実績	件	26	37	29	－
		目標値	件	34	34	34	34
		達成度	%	76.5	108.8	85.3	－

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）/定性的なアウトカムに関する成果実績

「医療分野研究開発推進計画（第２期）」（令和２年３月27日閣議決定）におけるシーズ開発・研究基盤プロジェクトの目標数（KPI）に基づき設定。各年度ごとの目標値は、170 件 ÷ 5 年 = 34 件/年　とする。
※達成目標および成果実績は、橋渡し研究支援拠点（文部科学省）と臨床研究中核病院（厚生労働省）で一貫した支援による成果であることを踏まえて、これら拠点の実績とする。

成果目標①-2の設定理由（短期アウトカムからのつながり）

医薬品・医療機器等の実用化に至る研究開発段階において薬事承認申請は最終段階※に位置づけられる。
※薬事承認申請に至る前段階である臨床試験（治験）段階では、例えば一般的な新薬開発においては3～7年かかると言われるなど長い期間を要するだけでなく、成功確率が低いため薬事承認申請の段階に移行するものは限られる。
橋渡し研究支援拠点で支援したシーズが最終段階の薬事承認申請に至ることを把握することで、橋渡し研究支援拠点の活動が効果的であることを確認する。

成果目標及び成果実績①-3（長期アウトカム）

成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度
橋渡し研究支援拠点で支援するシーズが薬事承認申請の段階にフェーズアップする	薬事承認申請を行った数（件）	成果実績	件	11	9	11	－
		目標値	件	6	6	6	6
		達成度	%	183.3	150	183.3	－

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）/定性的なアウトカムに関する成果実績

「医療分野研究開発推進計画（第２期）」（令和２年３月27日閣議決定）におけるシーズ開発・研究基盤プロジェクトの目標数（KPI）に基づき設定。各年度ごとの目標値は、30件 ÷ 5 年 = 6件/年　とする。
※達成目標および成果実績は、橋渡し研究支援拠点（文部科学省）と臨床研究中核病院（厚生労働省）で一貫した支援による成果であることを踏まえて、これら拠点の実績とする。

アウトカム設定についての説明

アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由

－

アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由

－

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	
名称	健康・医療戦略（令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更）、医療分野研究開発推進計画（令和3年4月6日健康・医療戦略推進本部決定）
URL	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/senryaku/index.html
該当箇所	－

事業所管部局による点検・改善		
点検結果	・本事業はアウトカムにおいて概ね目標を達成しており、医療分野の研究開発の推進に寄与していると考えられる。 ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構において、研究開発課題評価に関する規則を踏まえ課題評価委員会が設置され、研究開発課題評価等が実施されている。当該委員会において事業の進捗状況管理や効果的・効率的な運営方法等について、評価を受けることで、合理的な事業運営が行われている。	目標年度における効果測定に関する評価（令和7年度実施） －
改善の方向性	引き続き政府の全体方針に基づき効果的・有効な事業を推進し、予算を効果的かつ効率的に執行していく。	

外部有識者の所見
外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
事業内容の一部改善	成果実績が目標値を大幅に上回っているため、目標値の再設定について検討すべきである。

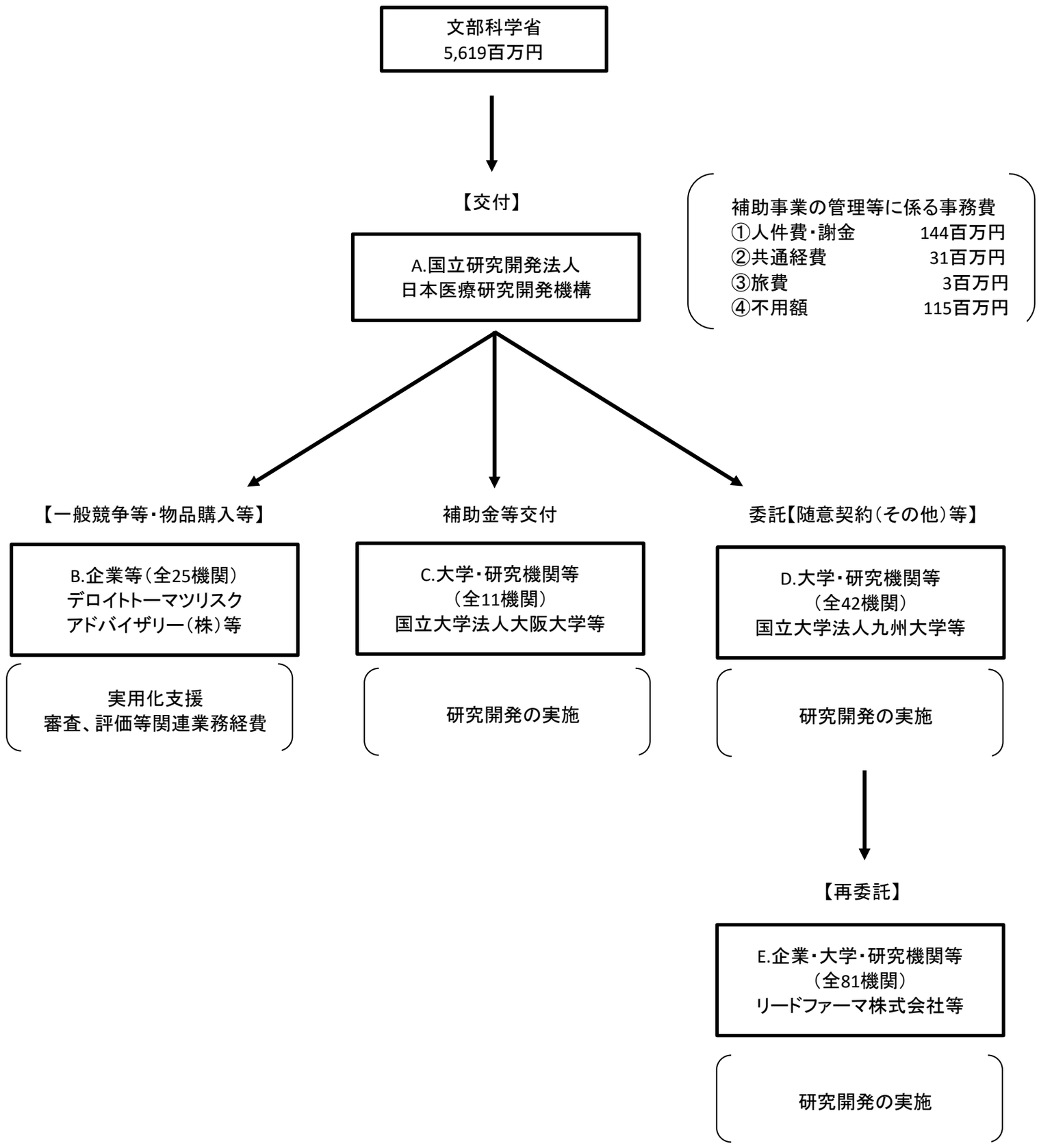
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
年度内に改善を検討	本事業の目標値は第2期健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づいて設定している。今後同戦略の見直しに向けて、適切な目標値の設定を検討する。
過去に受けた指摘事項と対応状況	**公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ** －
	上記への対応状況 －
	その他の指摘事項 －
	上記への対応状況 －

備考
－

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	－			
平成24年度	－			
平成25年度	－			
平成26年度	26-214、26-215、26-216	26-224	26-229	26-230
平成27年度	新27-0025			
平成28年度	244			
平成29年度	252			
平成30年度	249			
令和元年度	文部科学省 － 0243			
令和2年度	文部科学省 0244			
令和3年度	2021 文科 20 0267			
令和4年度	2022 文科 21 0271			

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
補助金	医療分野の研究開発	5,619
計		5,619

B.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
役務費	令和4年度拠点支援シーズデータベース（BRIDGE）の運用保守・分析他	54
計		54

C.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
委託費	シーズ研究開発の実施	157
人件費・謝金	シーズ開発支援の人件費・謝金	4
その他	印刷費等	2
旅費	旅費	1
間接費	シーズ開発支援に関連して必要な経費	1
計		165

D.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
物品費	設備備品、消耗品等の購入費用	182
その他	外注費等	181
間接費	研究開発遂行に関連して必要な経費	126
人件費・謝金	人件費・謝金	45
旅費	旅費	11
計		545

E.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
その他	外注費等	33
間接費	研究開発遂行に関連して必要な経費	10
物品費	設備備品、消耗品等の購入費用	0.8
旅費	旅費	0.2
計		44

F.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載　チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	5,619	補助金等交付	－	－	－

B

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	ﾃﾞﾛｲﾄﾄｰﾏﾂﾘｽｸｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞﾘｰ株式会社	2010001081417	令和4年度 拠点支援シーズデータベース（BRIDGE）の運用保守・分析、他	54	随意契約（公募）	－	－	－
2	株式会社日本総合研究所	4010701026082	橋渡し研究プログラムシーズアクセラレーション支援業務	40	一般競争契約（総合評価）	2		
3	株式会社ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞｵﾌｨｽｴｽｴﾑｴｽ	8120001088825	「革新的医療技術創出拠点　令和4年度成果報告会」の運営支援業務	6	一般競争契約（最低価格）	2		
4	株式会社英知	2010801028286	労働者派遣	4	一般競争契約（最低価格）	1		
5	三井不動産ﾋﾞﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ株式会社	4010001129759	「革新的医療技術創出拠点令和4年度第2回全体会議」および「革新的医療技術創出拠点令和4年度成果報告会」会場借上、他	2	随意契約（その他）			
6	特定非営利活動法人医療ﾈｯﾄﾜｰｸ支援ｾﾝﾀｰ	2013405000693	課題評価委員会Web運営支援、他	2	随意契約（その他）			
7	株式会社ｽﾘｰﾗｲﾄ	6010001047835	令和4年度拠点調査会議　運営支援業務、他	1	一般競争契約（最低価格）	2		
8	株式会社アドスリー	6011201010574	「医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-M/MS）第4回成果発表会」配信業務、他	0.8	随意契約（その他）			
9	株式会社ﾃﾞｨｰﾜｰｸｽ	4010501024410	課題評価委員会Web運営支援	0.7	随意契約（その他）			
10	株式会社Swimmy	8010401148405	音声データ・テープ起こし	0.7	一般競争契約（最低価格）	3		

C

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	国立大学法人大阪大学	4120905002554	橋渡し研究推進による未来医療創出、他	165	補助金等交付			
2	国立大学法人京都大学	3130005005532	先端医療技術開発による革新的医療の創造と実装、他	164	補助金等交付			
3	慶應義塾	4010405001654	基礎・臨床一体型の持続可能な橋渡し研究支援拠点形成、他	145	補助金等交付			
4	国立大学法人九州大学	3290005003743	多分野・多領域・多地域を集約した日本発新規医療技術の研究開発、他	129	補助金等交付			
5	国立大学法人東北大学	7370005002147	アカデミア発革新的技術を活かした先端医療開発拠点の構築、他	126	補助金等交付			
6	国立研究開発法人国立がん研究センター	6010005015219	出口指向の橋渡し研究支援によるアカデミア研究成果の最大化	113	補助金等交付			
7	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	世界を展望できる地域に合った持続的に成長する機関の創成を目指した研究	103	補助金等交付			
8	国立大学法人筑波大学	5050005005266	つくばの英知による先端医療シーズのグローバル実用化推進事業	102	補助金等交付			
9	国立大学法人岡山大学	2260005002575	健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点	101	補助金等交付			
10	国立大学法人東京大学	5010005007398	多様な卓越したシーズ探索・研究開発を支援する産学官民の協創による拠点形成	87	補助金等交付			

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	国立大学法人九州大学	3290005003743	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化、他	545	随意契約（その他）			
2	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	胃癌腹膜播種に特化したアンチセンス核酸医薬開発、他	274	随意契約（その他）			
3	国立大学法人大阪大学	4120905002554	前立腺特異的膜抗原（PSMA）を標的とした革新的α線治療薬の実用化に向けた医師主導治験の実施、他	255	随意契約（その他）			
4	国立大学法人大分大学	3320005001974	全身性強皮症の血管障害への新治療薬による医師主導治験研究、他	225	随意契約（その他）			
5	国立大学法人東北大学	7370005002147	進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験、他	210	随意契約（その他）			
6	国立大学法人東京大学	5010005007398	ベバシズマブ発現型抗がんヘルペスウイルスの臨床開発、他	179	随意契約（その他）			
7	国立大学法人神戸大学	5140005004060	ビフィズス菌を利用した経口がんワクチンによる進行性尿路上皮癌を対象とした医師主導治験	129	随意契約（その他）			
8	国立大学法人京都大学	3130005005532	iPS細胞由来心筋細胞を用いた心筋再建治療法の創出、他	123	随意契約（その他）			
9	国立大学法人広島大学	1240005004054	天然型マイクロRNA補充療法による悪性胸膜中皮腫を対象とした医師主導治験、他	120	随意契約（その他）			
10	学校法人東海大学	1011005000371	膝窩動脈以下（below-the-knee：BTK）の細径動脈硬化性病変に対する長期開存ステントシステムの実用化研究	113	随意契約（その他）			

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	リードファーマ株式会社	4120001223328	原発性高カイロミクロン血症を対象としたアンチセンス医薬の開発	44				
2	株式会社三松	4290001042959	脳血管疾患を対象とした手指ニューロリハビリテーションデバイスの上市とAIセンサ統合による発展	41				
3	株式会社ジェイテックコーポレーション	5140001023717	治療機序に基づき最適化した効率的な脳梗塞治療用幹細胞分離機器の研究開発	39				
4	バイオゾーン メディカル 株式会社	7230001003096	膝窩動脈以下（below-the-knee：BTK）の細径動脈硬化性病変に対する長期開存ステントシステムの実用化研究	33				
5	国立大学法人東京大学	5010005007398	IL-12発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的ウイルス免疫療法開発、他	31				
6	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	6012705001563	筋指向性AAV変異型中空粒子とペプチド付加核酸医薬の複合体による筋ジストロフィーのエクソン・スキップ治療	29				
7	バイオチューブ株式会社	7120001206172	下肢動脈バイパス用人工血管（バイオチューブ）の作製用鋳型の開発	27				
8	オリヅルセラピューティクス株式会社	2130001069094	iPS細胞由来心筋細胞を用いた心筋再建治療法の創出	27				
9	国立大学法人熊本大学	2330005002106	先天性有機酸血症の新治療薬による医師主導治験研究、他	26				
10	山科精器株式会社	2160001013537	膝窩動脈以下(below-the-knee)の細径動脈硬化性病変に対する長期開存ステントシステムの実用化研究	21				
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	